



mondo mayday
for the Precariat
007 (in Tokyo)

2007
4/30
月・休日
12時30分開場

会場着カンパ 500yen

生きることはよい。生存を貶めるな!
低賃金・長時間労働を撤廃しろ。まともに暮らせる賃金と保障を!
社会的排除と選別を許すな。やられたままで黙ってはいないぞ!
殺すことはない。戦争の廃絶を!
メーデーを抗議と連帯と反攻の日に!

★主催—「自由と生存のメーデー07」実行委員会 ★呼びかけ/連絡先—フリーター全般労働組合
〒160-0023 東京都新宿区西新宿4-16-13 MKビル2階 電話&FAX:03-3373-0180 e-mail:paff@sanpal.co.jp

メーデー宣言集会

13時-14時(大久保区民センター4Fホール)

反攻
1

誰かの^{そくいん}側隠の情を満たすために私たちの生があるのではない。私たちは開発と保護に晒され続ける弱き者、力なき者では断じてないからである。私たちは自立への孤立を拒み、連帯の中に自律を求める。つねに別の世界を企み変革を要求する。不安定な生を強いられる私たちは、反攻の日を宣言する。

歌舞伎町周回! サウンド+?デモ

14時半-16時

反攻
2

サウンドデモはついに新宿大ガードをくぐり、靖国通りを歌舞伎町へと進む。警視庁が数十年にわたって拒否し続けたコースだ。プレカリアートのデモは多様者の力で異例な「前例」を作り続ける。

コース:区民センター→(大久保通り)→新大久保・大久保駅前→(小滝橋通り)→新宿大ガード→(靖国通り)→歌舞伎町前→OIMEN横→(明治通り)→(大久保通り)→区民センター

プレカリアート交流集会

16時半-21時(大久保区民センター4Fホール)

反攻
3

反攻の開始を祝おう。生をさまざまに交錯させ、プレカリアート運動の未来を作り出そう。

トークセッション—司会:雨宮処凛(作家:近著『生きさせろ!—難民化する若者たち』太田出版、『パンギャル ア ゴーゴー』講談社)/QT(フリーター全般労働組合) 提起:湯浅誠(NPO法人 舂(もやい)事務局長:近著『本当に困った人のための生活保護申請マニュアル』同文館出版)/矢部史郎(思想誌『VOL』編集委員:近著『愛と暴力の現代思想』青土社) 軽食ブース—抵抗食の会(準)(別室) 他企画準備中!

「格差」と「貧困」が社会的な課題としてにわかに取りざたされている。しかし雇用の流動化はさらに進められ、生きるための基盤はますます不安定なものへと置き換えられるばかりだ。政府は問題を「機会の不足」へと矮小化し、格差と貧困の責任を私たちの就業能力、起業能力の欠如に還元しようとしている。その帰結は、生存を「自立」競争の勝利者への褒賞に変えることに他ならない。

しかし、彼らが言うように未来なく不安定なこの生を自分のせいとされ、頭と体と感情をすり減らすことはない。働かない・働けないことへの侮蔑と嘲笑と同情におびえる日々を終わらせるための反攻はすでに始まっているからだ。労働を道徳と結びつけ、勝ち誇って人に生きる資格を問う者たちに、差別と排除で人々を切り分け敵対させる者たちに、私たちは全身で反対する。「ただ生きること」を肯定する私たちは、この社会にもたらされている「戦争」を拒絶し、侮蔑と不正に連帯で応じる。この自由と生存の日に! プレカリアートの反攻の日に!

2007年3月23日 「自由と生存のメーデー 07」実行委員会

【運営上の確認】 政治的立場の違いを暴力によって「解決」することを実践し、その行為と思想を正当化し続ける人びとの参加はおとこわりします。



大久保地域(区民)センター所在地—新宿区大久保2-12-7
JR新大久保駅から明治通り方向に約600m(ペアーレ新宿裏)